

Annual Report 2025

年次報告書

2025 年 1 月～12 月

大阪ユニセフ協会

Osaka Association for UNICEF



I. 組 織 概 要

名 称	大阪ユニセフ協会 2011年4月1日 日本ユニセフ協会大阪支部を改称
目 的	公益財団法人日本ユニセフ協会と協力協定を結び、 大阪府を中心に「世界と子どもたちの命と権利を守る」 ために活動しています
設 立 日	2001年(平成13年)8月1日
代 表 者	会長 吉田 昌功 (2025年7月25日就任)
事 務 所	〒556-0017 大阪市浪速区湊町1-4-1 OCATビル2F 火曜日から土曜日(祝日を除く) 午前11時から午後4時
電 話	06-6645-5123 FAX 06-6645-5124
E-Mail	un@unicef-osaka.jp URL https://www.unicef-osaka.jp
役 員	顧問 3人、理事 38人、監事 2人(2026年3月末現在)
会 員	個人会員 86人、団体会員9社(2026年3月末現在)
ボランティア	120人(2026年3月末現在)
主な事業活動	
(1) 広報活動	ユニセフ大阪通信の発行 ホームページ、SNS 学校等への学習協力 セミナー、学習会の開催 視聴覚教材の貸出し 写真展の開催
(2) 募金活動	チャリティイベントの開催 協力団体イベントへの参加、協賛 ハンドインハンド募金 街頭募金(愛称:アリス募金) 募金の受付、募金協力への対応

Ⅱ、2025 年 1 月～12 月 事業と運営の概要

1. 広報活動

□「ユニセフ大阪通信」97号、98号、99号、100号を2月、5月、8月、11月に各4,000部発行。巻頭記事は「子どもの命を奪う栄養不良」「取り残される人びとの存在に光を」「難民申請 苦境伝える難しさ」「ボランティアが充実して活動できる場を」と題して、ユニセフが支援する地域や人びとの状況について取り上げ、100号では吉田新会長に抱負をお聞きしました。いずれも記事はホームページに掲載されています。

□ ホームページは活動の内容がより見やすく、利用者が必要とする情報へ確実にアクセスできるよう工夫と改善を加えています。また創設25周年に当たり、大阪ユニセフ協会の今日までの歩みが一覧できる新たなページを検討中です。今後はSNSの活用も含め、若い世代に向けてどう伝えるかが課題です。

□ ユニセフ写真展は大阪府下の図書館や公民館などで開催され、広報活動の柱となっています。
(各写真展のテーマは以下「2. 主なイベントの実施」写真展の項をご参照ください)

2. 主なイベントの実施

以下、○＝ 主催イベント、●＝ 他団体主催イベント、V＝ 当日または期間中の参加ボランティア数を表しています。

○ユニセフ新春交流会 2025 2月1日 中央電気倶楽部大ホール

募金活動や写真展など前年の活動をスライドで振り返り、学生からは「職場体験」でユニセフ活動に参加した感想が発表されました。お世話になった方々とボランティアが集い、親睦を深める時間となりました。約60名参加。

●第32回ワンワールドフェスティバル 2月8、9日 梅田スカイビル

国際協力・交流団体の85団体が集まり、2万5000人が来場しました。大阪ユニセフ協会は「世界の子どもたちへの支援」をアピールし、関心を集めました。(V＝2日間11名)

○第17回ユニセフチャリティウォーク 4月5日 花博記念公園鶴見緑地

満開の桜の下、402名が参加。パネルと支援物資の展示コーナーが設けられ、ユニセフの活動を紹介しました。一人500円の参加費は全額募金となりました。(V＝多数参加)

●なにわ人形芝居フェスティバル 4月6日 一心寺

関西最大の人形劇フェスティバル。今年も天王寺区の一心寺界隈で人形劇パフォーマンス、飲食テント、ワークショップが行われました。ユニセフは広報と募金活動で参加しました。(V＝5名)

●大阪市こどもカーニバル 4月20日 長居公園自由広場

大阪市内各区の子ども会や青少年団体の協力で開催する恒例の催しです。子どもたちの演奏、クラフト、ゲームや模擬店が行われ、ユニセフのブースでは遊具「天までとどけ」や缶バッジ制作コーナーが人気を集めました。(V=13名)

○こどもの日写真展 4月29日～5月6日 梅田スカイビル

「戦禍の中の子どもたち」を展示。5月1日～3日には募金活動も行い、スカイビルを訪れた多くの方々から善意が集まりました。(V=3日間合計24名)。

●さかい福祉まつり 6月15日 堺市役所前広場

堺市内の福祉作業所などで働く人たちが中心となって開催されるお祭り。ユニセフは例年通り「愛と平和コーナー」に出店しました。(V=8名)

●大枝公園フリーマーケット 6月21日 大枝公園(守口市)

個人が衣料や雑貨を出店して楽しむイベントです。ユニセフはブースを設け、広報と募金活動を行いました。(V=4名)

●○八尾高校チャリティコンサート協力イベント 6月22日 アリオ八尾

八尾高校吹奏楽部のサマーコンサートに合わせて、ユニセフ写真展「学校へ行きたい」と募金活動が行われました。(V=12名)

○ユニセフセミナー大阪2025 7月26日 大阪市中央公会堂大会議室

テーマを「平和の種を育てよう一次世代へのメッセージ」とし、ユニセフ職員の芳野あきさん(南スーダン事務所、講演のみ、オンライン参加)からは紛争地の子どもについて、帝塚山大学法学部教授の末吉洋文先生からは、平和構築のために私たちがすべきことについて教えていただきました。講演後、ボランティアと講師が平和について意見交換しました。45名が参加。(V=4～5名)

○ユニセフシアター第5回上映会『さとうきび畑の唄』 9月23日 ピースおおさか講堂

戦後80年の節目に、沖縄戦で戦火に追われる家族の姿を描いた長編ドラマを上映しました。映画終了後、参加者がグループに分かれ、感想発表の場を設けました。当日は、後述の「たこやきキャンパス」と関連付け、高校生が司会・進行を担当しました。43名参加(V=4～5名)

●東住吉区民フェスティバル 10月19日 長居公園

ユニセフ広報と子どもの遊びをし、募金活動をしました。(V=5人)

○ユニセフチャリティバザーOCAT2025 10月25日 なんばOCATポンテ広場

開催時間を11時～15時までと短縮して実施しましたが、たくさんの来場者で賑わい、各コーナ

一とも売れ行きは好調でした。バザー収益金の全額 715,056 円を募金として日本ユニセフ協会へ送金しました。(V=ボランティアほか協力者合わせて 53 名)

○【新企画】第 1 回たこやきキャンパス 11 月 8 日 難波市民学習センター講堂

戦争と平和、子どもへの支援をテーマに、学生が自分たちの考えを自由に発表する場として企画されました。小学 5 年生から高校 2 年生まで 1 グループ、7 校 45 名が参加。平和学習や修学旅行、ボランティア活動などで得た学びをもとに、自分たちの考えをアピールしました。のびのびと発表することが成長につながる機会になったと感じさせました。全体参加者 80 名。(V=多数)

○第 47 回ハンド・イン・ハンド募金 11 月 30 日、12 月 15、21 日 大阪府下延べ 14 カ所、雨天のため中止 6 カ所

2025 年のハンド募金にはボーイスカウトやガールスカウトを中心に 24 団体、約 500 人が参加しました。テーマである「すべての子どもに生きる希望を！」の願いを込めて呼びかけ、募金額 742,693 円を日本ユニセフ協会へ送りました。(V=多数)

●○チャリティクリスマスコンサート 12 月 14 日 アリオ八尾

府立八尾高等学校吹奏楽部のコンサートに合わせて写真展と募金活動を行いました。(V=多数)

○●ユニセフ写真展 (参加 V 数は 1 回の開催で 2~3 人)

定期開催の会場に加え、新規の要請もあり、写真展は確実に定着しています。テーマは紛争や災害など最新の世界情勢に関するものが多く、ユニセフ活動への関心の高さもうかがわれます。

写真展開催一覧

期 間	会場名	テーマ
1/18~2/16	ピースおおさか	SDGs とユニセフ
2/1	中央電気倶楽部	今を生きるこどもたちへ
3/5~3/13	ラスタホール	紛争下に生きる子どもたち
3/22	アリオ八尾	すべての子どもにワクチンを
4/3~8	咲くやこの花館	気候変動禍を生きる子どもたち
4/18~5/14	大阪市立中央図書館	戦禍の中の子どもたち
4/29~5/6	セキスイ	戦禍の中の子どもたち
5/27~6/9	香里ヶ丘図書館	戦禍の中の子どもたち
6/21~26	堺市役所	紛争下の子どもたち
6/22	アリオ八尾	学校に行きたい
7/2~15	大阪府立中央図書館	Dear Adults 大人のみなさんへ
7/26	大阪市中央公会堂	紛争地の子どもたち
7/29~8/7	蛍池公民館	子どもの命と未来を守るため

8/6～8/31	TENNOJI ZOO MUSEUM	「戦時中の動物園～語りつぐ、命の記憶～」に数枚出展
9/19～9/30	池田市役所	今、同じ空の下で
9/19～9/23	千里文化センター「コラボ」	潮とともに生きる
11/19～12/2	あべのハルカス	すべての子どもに平和を
11/26～12/5	シティ信用金庫本店ロビー	今、同じ空の下で
12/14	アリオ八尾	今、同じ空の下で
12/13～12/25	ラスタホール	すべての子どもに平和を

●四天王寺 縁日での広報、募金活動

1/21、1/22、2/21、2/22、3/21、3/22、3/23、4/21、4/22、5/21、5/22、6/21、6/22、7/21、7/22、8/21、8/22、9/21、9/22、9/23、10/21、10/22、10/23、11/21、11/22、12/21、12/22（各日V=2～5人）

●○写真展会場での広報・募金活動（1開催参加V=2～5人）

〈新梅田シティ〉5/1、5/2、5/3

〈豊中市千里文化センター（コラボ）〉9/26、9/27、9/28、9/29

○街頭募金活動 JR 難波駅広場

通称「アリス募金」と呼んでいる街頭募金活動は、毎月1回JR難波駅広場で行っています。時には学生の飛び入り参加もあり、若い世代には取り組みやすい活動になっています。

1/11、2/8、3/8、4/12、5/17、6/21、7/19、8/23、9/13、10/11、11/15（各日V=7～10人）

3. 学習協力活動（出前授業）の状況

出前授業の依頼は高いリピート率もあって増加しており、年末までに50件を超える依頼が寄せられました。講師態勢の強化のため、全メンバーが参加する月例会で情報共有化や出前授業のふり返し、また勉強のための映像鑑賞会を継続しており、新メンバーの戦力化が行われています。

2025年1月～12月実績（出張・来室・オンラインは件数、貸し出しは本数）

出張	来室	オンライン	本年	前年	摘 要
51	5	0	56	62	小24、中13、高8、大4、その他（幼・専門・教員）7
DVD貸出し	パネル貸出し		合計	前年	DVD貸出しにはビデオ貸出しを含む
4	0		6	7	幼0、小0、中0、高0、大0、その他4

◎インターンシップは高校生1名（米国ヒューストン高校在籍）、大学生1名を受け入れました。

◎【職場体験】関西創価中学校6名（10/29～10/30）

◎大阪教育大学とのコラボレーション演習

活動期間：2025年2月～2026年1月 参加者5名

演習内容：募金活動、出前授業の補助、勉強会参加、セミナーへの参加、事務所での作業など

4. 募金の状況

2025 年 1 月～12 月実績

金額万円、件数は振込件数

	個 人		団体・企業		学 校		小 計		当協会 活動	合計
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	金額	金額
本年	56	889	24	1390	10	23	90	2303	456	2759
前年	51	10318	33	1476	10	54	94	11849	296	12146

2025 年 1 月～12 月には緊急募金活動はありませんでした。

5. ボランティアの状況

☐ 12 月末登録者 123 人。

☐ 毎月最終水曜日にボランティア連絡会を開催（任意参加、20 人前後が参加）、イベントや各グループの状況報告、運営委員会からの報告事項の検討などをします。議事録は「ボランティアだより」にまとめ、メール、FAX、レターで発信して、情報の共有化を図っています。

6. 会議の状況

☐ 運営委員会 毎月第 1 水曜日に事務所で開催。

現在は事務局長以下、各グループの責任者のメンバーが中心となって運営しています。

☐ ボランティア連絡会（前項 5.「ボランティアの状況」を参照）

☐ 2025 年協定地域組織事務局長会議 2 月 27 日、28 日

全国 27 の協定地域組織から 29 名、日本ユニセフ協会職員が出席（大阪からは宮島事務局長・萬浪次長）。日本ユニセフ協会各部から報告と計画発表、総務部、団体・企業事業部から報告と計画発表、各協定地域組織より活動報告がありました。

☐ 第 30 回理事会 3 月 26 日／第 15 回定時会員総会 同日 いずれも難波市民学習センター 研修室（OCAT ビル 4 階）で開催。

「2024 年度事業と運営の概要報告、収支決算報告」「理事選任、事務局長交代」の議案が原案通り可決、承認されました。

☐ 日本ユニセフ協会学習講師研修会 6 月 27 日 日本ユニセフ協会

全国 27 の協定地域組織から担当者が参加。大阪からは槇野治氏と日高佳代氏が参加。日本ユニセフ協会学校事業部による出前授業のプレゼンテーション例の紹介やワークショップ体験、地域組織参加者からの質疑応答が行われました。

□ 第 31 回臨時理事会 7 月 25 日／第 16 回臨時会員総会 同日 いずれも難波市民学習センター研修室（OCAT ビル 4 階）で開催。

「顧問・理事選任」「会長交代」「大阪ユニセフ協会規約改定」の議案が原案通り可決、承認されました。

□第 32 回理事会 11 月 27 日 難波市民学習センター研修室（OCAT ビル 4 階）で開催

「2025 年 1 月～9 月の事業と運営の概要報告」「2026 年度事業方針案」「事業計画案」「2026 年度の収支予算案」「顧問・理事の選任および退任の件」の議案が原案通り可決

IV、役員名簿（敬称略、役職別、50 音順）

2026年3月26現在

顧問

出田善蔵	桃山学院大学理事長	熊ノ郷 敦	国立大学法人大阪大学総長
三澤 康	外務省特命全権大使（関西担当）	倉坂昇治	西日本旅客鉄道代表取締役社長
藤 洋作	関西電力顧問	黒川浩明	大阪アーティスト協会会長
	（顧問 3 名）	小林充佳	NTT西日本相談役

会長・理事

吉田 昌功	元近鉄グループホールディングス 代表取締役社長 大阪商工会議所 副会頭	小山富美子	大阪ユニセフ協会登録ボランティア
		齋藤昌宏	三晃空調取締役会長
		櫻木弘之	大阪公立大学学長

常務理事

高橋知史	大阪シティ信用金庫代表理事会長	関 雄二	国立民族学博物館館長
井尻雅之	連合大阪会長	関百合子	堺市教育委員会教育長
本荘武宏	大阪ガス取締役会長	多田勝哉	大阪市教育委員会教育長
萬浪富弘	大阪ユニセフ協会登録ボランティア	谷本弥生	大阪府国公立幼稚園・こども園長会会長
宮本信之	関西電力執行役常務	椿原雅子	大阪いずみ市民生活協同組合 副理事長

理事

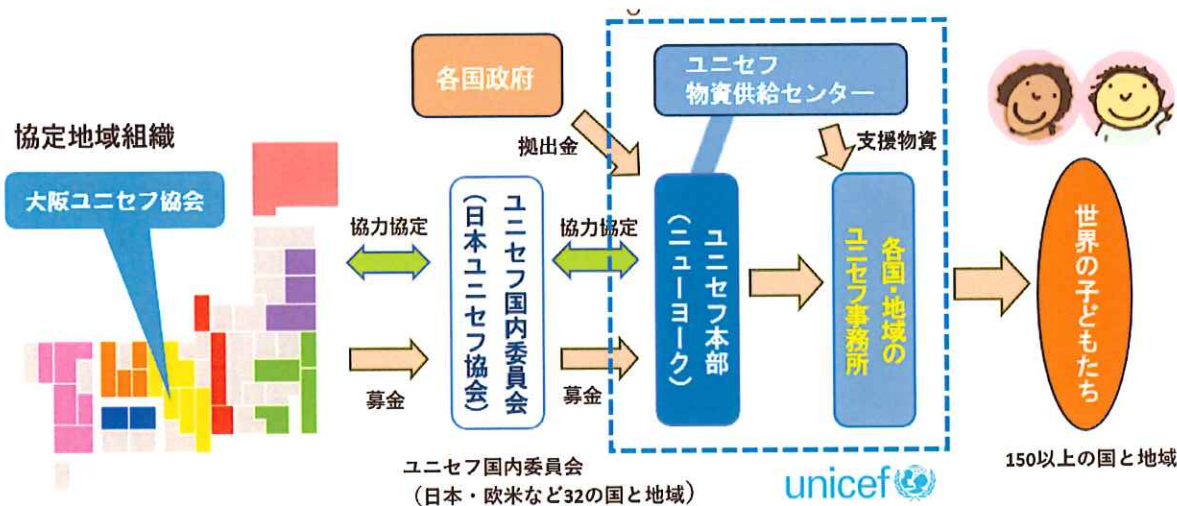
新井美穂子	大阪市経済戦略局都市間交流担当部長	永井靖二	関西経済同友会代表幹事
飯田保之	近鉄グループホールディングス 上席執行役員	濱崎 寛	医療法人健正会理事長
伊東徹二	日本ボーイスカウト大阪連盟事務局次長	藤野真奈	ガールスカウト大阪府連盟副連盟長
上田恵子	国際ゾンタ 26 区エリア3 大阪I ゾンタクラブ会長	堀井良殷	関西・大阪21 世紀協会顧問
大江桂子	大阪府生活協同組合連合会会長理事	三林京子	女優・作家
岡山伸子	N R B 日本理容美容専門学校理事長	宮坂久美子	日本航空常務執行役員西日本支社長
梶間隆弘	近鉄百貨店代表取締役社長 執行役員	宮島登美子	日本テレマン協会理事
川上 征	電通客員	森田正人	NHK大阪拠点放送局長代行
木村 勇	元大阪府立大学観光産業戦略研究所 客員研究員	山中和貴	吉本アドミニストレーション 代表取締役社長
		弓場美幸	大阪ユニセフ協会登録ボランティア
		吉川秀隆	大阪府国際交流財団理事長
			（理事38名）

監事

鯨本智史	税理士
信岡登紫子	弁護士
	（監事2 名）

V. ユニセフ協力協定図

大阪ユニセフ協会は、公益財団法人日本ユニセフ協会と協力協定を結び活動しています。



VI. 大阪ユニセフ協会 案内図

